

平成21年度麻疹風疹混合（第3期・第4期）予防接種事業の実施報告について

○事業概要 日本国内における麻疹の流行の防止及び患者の発生を限りなく抑制する為に、麻疹の予防接種を1回しか受けていない者であって、就学等により集団生活をする環境下にある者に対し、2回目の接種の機会を設けることにより排除をしていくものである。（平成20年度から24年度の5年間実施事業）

*H20とH21の接種率の比較

第3期	中学1年に相当する年齢		
	対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)
H20	1524	1204	79.0
H21	1564	1364	87.2

第4期	高校3年に相当する年齢		
	対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)
H20	1534	1218	79.4
H21	1430	1208	84.5

参考

第1期	1歳以上2歳未満		
	対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)
H20	1530	1493	97.6
H21	1478	1354	91.6

第2期	入学前の1年間(年長児)		
	対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)
H20	1622	1424	87.8
H21	1532	1376	89.8

*接種率向上に向けての取り組み

- ・最初に個別通知にて通知文と予診票を5月に対象者に一斉発送
- ・学校から中学1年生に対して勧奨の文書を配布（4月）
- ・広報・ホームページにて勧奨の案内
- ・保健センターから未接種者に対し勧奨の手紙を個別に通知（1月）

*取り組み後の結果について

初年度より接種率は上がっているが、国の目標である95%には達していない。

接種率は上がったものの、県下での順位はまだ下の方である。